

令和6年度 愛の福祉基金活動報告

令和6年度は愛の福祉基金に 1,510,362 円(一般寄附 6 件、基金箱 352 施設)のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

令和6年度 愛の福祉事業振興補助金 実施事業の紹介

No.	事業者名	補助額 (事業費)	事業内容
1	長崎県児童養護施設協議会	234,000 (313,195)	【令和6年度児童養護施設入所児童作文集「ぼくらの願い」刊行事業】
2	諫早コスモス音声訳の会	26,000 (528,000)	【音訳機器整備事業】USBマイクロホン、スピーカー
3	公益社団法人日本てんかん協会 長崎県支部	16,000 (105,590)	日本てんかん協会九州ブロック交流会参加事業
4	ながさきRぶりゅっと	165,000 (220,305)	障害があるアーティストのインクルーシブ事業
5	一般社団法人長崎県ろうあ協会	111,000 (656,020)	1. 【第72回全国ろうあ者大会(和歌山県)】 2. 【第72回九州ろうあ者大会(熊本県)】
6	全国手話通訳問題研究会 長崎 支部	160,000 (1,235,576)	【手話通訳者の研修会派遣事業】 1. 第57回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinかごしま～ 2. 第51回全九州手話通訳者研修会in熊本
7	一般社団法人 長崎県身体障害 者福祉協会連合会	438,000 (1,282,107)	①【在宅重度障害者福祉増進事業】 ②【第53回九州身体障害者福祉大会・第31回九州ブロック身体障害者相談員研修会 研究部会参加事業】

【愛の福祉基金とは】

愛の福祉基金は、障害のある方々のため基金箱を設置いただき、愛の心と寄付金を集める運動として昭和47年11月2日から始まりました。

基金箱は、各学校、企業、その他各種団体に設置していただいています。

寄付金は、長崎県愛の福祉基金として積み立てられ、障害者の芸術活動やスポーツの振興等、県内の様々な障害者の福祉の推進に活用しています。

愛の基金は、障害をもつ人や家族、又、サポートするボランティアの方々にとって多くの希望や勇気、可能性へとつながっています。

また、愛の福祉基金では、基金箱の寄付以外にも、一般寄付を受付けています。

あなたの善意を愛の基金箱に！



あなたのお店に、あなたの職場に備えてください。

愛の福祉事業振興補助金について

愛の福祉事業振興補助金では、下記1～4に該当する障害福祉事業に対して補助を行っています。
毎年多くの団体がこの補助金によって身体療育などさまざまな福祉活動を行っています。

1

心身障害者等の自立更生のための援助事業

＜事業例＞

療育キャンプの実施、各種障害者関係研修会の開催 など

＜対象経費＞

○交通費 ○宿泊費 ○会場代 ○講師招請費用 等

2

地域福祉活動の向上に寄与すると認められる事業

＜事業例＞

手話サークルボランティア活動 など

＜対象経費＞

○交通費 ○会場代 ○講師招請費用 等

3

県民の社会福祉意識の高揚に寄与すると認められる事業

＜事業例＞

バスハイキング など

＜対象経費＞

○交通費 ○会場代 ○印刷製本費 等

4

長崎県知事が福祉振興のため特に必要と認める事業

＜事業例＞

上記1～3以外で事業実施のために必要な物品購入
(音訳・点訳機器等)

＜対象経費＞

○物品購入費

○心身障害者等の自立更生のための援助事業

- ・公益社団法人日本てんかん協会長崎県支部
日本てんかん協会九州ブロック交流会への参加



開催場所が非常に良かった。分科会（家族の部）もとても良かった。
懇親会の余興の場面では地域性のあるコトが面白く楽しかった。
久しぶりに車椅子の娘を連れて参加し大変だったが、同じ重度の子を
持つ親と交流できて実のある会だった。
来年が地元の長崎で開催なので、他県の会員に喜んでもらえるように
盛り上げていきたいと思う。

- ・一般社団法人長崎県ろうあ協会
全国ろうあ者大会、九州ろうあ者大会への参加



第2部 「新しい手話検定」「創作手話コンテスト」

新しい手話検定は 10 問出題された。

瓦礫、検疫所、LGBT、矢面に立つ、にわか雨、泥流、公序良俗、
カルテ、ローリングストック法、直下型地震 ●
点数は 10 点中 5 点。とても難しかった。

創作手話コンテストでは、出題された言葉を参加者が創作して表現す
る。積極的な参加者が壇上で表現した。審査委員は、これまでは、寸
劇みたいな表現が多かったが、今回は皆さん素晴らしい表現が多かつ
たと評価された。

印象に残った単語は「シャチ」でした。 ●

- ・全国手話通訳問題研究会長崎支部
全国手話通訳問題研究集会、全九州手話通訳者研修会への参加

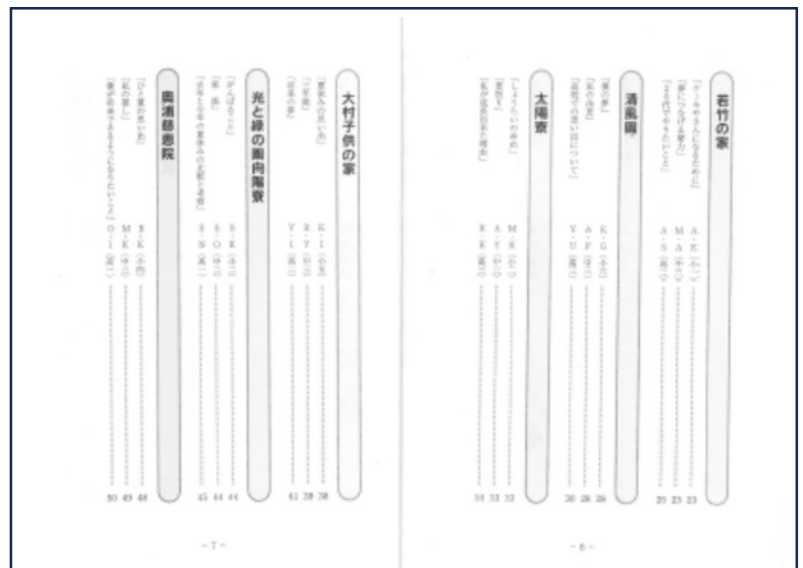


私は、オニ講座、長谷川 達也氏による「目からウロコ」の手話
～ろうあ者の手話に学ぶ～に参加しました。
テーマの まえに「目からウロコ」でした。
映像が見えないう通訳だと分かる単語を聞き取
る意味も考え映像を想像するが流れが分からない
から頭が疲れる。そのろうあ者の本音にどれだけの負担
を掛けているのだろうと自分の通訳を猛省しました。
今後は、ろうあ者との交流の中で視線や気持ち
を大事にしなから、映像を元にした手話を表現
ができるように頑張りたいと思いました。
又、3つの手話サークルからの発表は取り組みや
熱い思いを聞くことができて、とても参考になりました。

○県民の社会福祉意義の高揚に寄与することが認められる事業

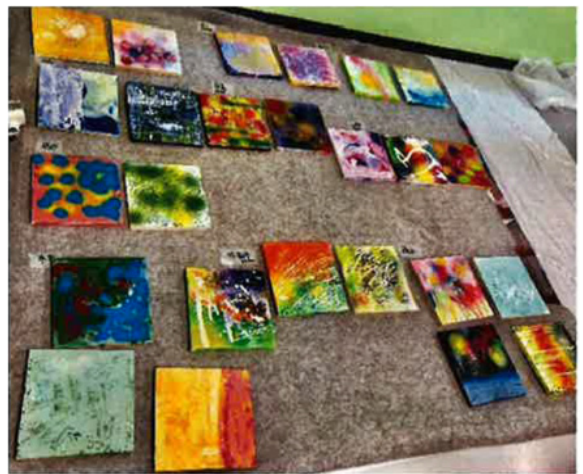
・長崎県児童養護施設協議会

児童養護施設入所者児童作文集「ぼくらの願い」刊行



・ながさき R ぶりゅっと

「障害があるアーティストのインクルーシブ事業」



・一般社団法人長崎県身体障害者福祉協会連合会

在宅重度障害者のドライブハイキング事業



○長崎県知事が福祉振興のため特に必要と認める事業

・諫早コスモス音声訳の会

USB マイクロホン、スピーカーの購入



○愛の福祉基金への寄附の方法

・愛の福祉基金基金箱のご協力について

県内各地の企業や学校、病院などに設置しています基金箱への募金にご協力をお願いします。
基金箱の設置にご協力いただける際は長崎県障害福祉課までご連絡ください。

・愛の福祉基金一般寄付へのご協力について

「寄付申込書」にご記入をお願いします。

一般寄附にご協力いただく際は、長崎県障害福祉課までご連絡ください。

電話番号 095-895-2453